

高校生に仕事の魅力を伝授 綾瀬市「福祉の仕事を知っ てもらおうプロジェクト」

綾瀬市内にある社会福祉施設職員が、自分たちの仕事の素晴らしさを高校生に知ってもらおうと、九月十日、市内の日々輝学園高校の就職ガイダンスの一コマとして、プレゼンテーションを行いました。



仕事の素晴らしさを伝えたい

この取り組みは、綾瀬市内の六カ所の社会福祉施設職員で構成する「福祉の仕事を知ってもらおうプロジェクト」によるもので、入社三年未満程度のほか、施設が推薦する若い世代の職員など十名によつて、昨年十一月に結成され、二カ月に一回の定例会を行っています。「セーフティネットの担い

手である施設職員の確保は大変大きな課題」と、綾瀬市社協が音頭をとりました。人材確保対策に際し、若い世代に向けて福

祉の仕事をいかに理解してもらうかを課題と捉えている本会も、共催として関わっています。開催にあたっては、数度の会合を持ち、課題の共有や取り組み方向を確認していききました。その中で、職員からの「人前での説明は緊張する」との声を受け、自信をもつてプレゼンテーションができるようにと講師を招き、研修を行いました。そうした取り組みのほか、市社協と学校との調整を経て、実施の運びとなりました。

当日は、約二十名の生徒が集まり、職員たちの話に熱心にメモをとる光景が見られました。質疑では、「ケアマネジャーになるにはどうしたらよいか」や「介護の仕事に就くには資格が必要ですか」などの声が聞かれ、職員は丁寧に対応していました。

このプロジェクトは、今後市内全高校でも行い、地道に活動を続けていく予定です。本会も支援を続けていくとともに、このような取り組みを増やしていくにはどうしたらよいかを検討しています。

(福祉人材無料職業紹介担当)

共に生き、支え合つ地域社会に 第五十九回県社会福祉大会開催

第五十九回県社会福祉大会を、去る十月二十一日に、県内福祉関係者の参加のもと、県立音楽堂にて開催しました。

記念講演は、「NHKアーカイブス」などを担当した、元NHKアナウンサーで千葉市女性センター名誉館長の、加賀美幸子さんをお招きし、「ここを動かす言葉」と題してご講演いただきました。

加賀美さんの放送を通じたさまざまな人との出会い、心動かされた言葉のエピソードに、会場は、言葉の持つ深さと魅力に包まれました。



清らかで、ゆとりある口調で会場に語りかける加賀美さん

第二部の式典では、県内福祉の推進に、長年に渡りご尽力されて

きた方々を称え、県知事表彰、県社協会長顕彰、県共募会長感謝の授与が行われました。

受賞者の内訳は、県介護賞(六名)、社会福祉関係者知事表彰(六十五名、九団体)、共同募金運動功労者表彰(三十六名、十一団体)、民生委員・児童委員永年勤続表彰(三名)、県社協会長感謝(二百八十一名)、県社協会長表彰(四百七十九名、九十団体)、県共募会長感謝(百五十九名、三十八団体)でした。

受賞者代表の久保田昇さんは、「受賞は、関係者、仲間への支えがあつてのことと深く感じています。これを機に一層、地域福祉活動の推進に努力していきたい」と話されました。



本会林会長から授与される久保田さん(左)

皆さまのますますのご活躍、ご発展を祈念いたします。

(総務担当)